



学校だより

令和8年4月30日
横浜市立仏向小学校

5月号

汗いっぱい

副校長 高野智彦

少し汗ばむ陽気となった、4月のある昼休みのことです。職員室にいる先生のもとへ、6年生の子どもたちが「一緒に遊ぼう！」と声をかけに来ました。誘われた先生は、子どもたちと一緒に運動場を駆け回り、休み時間の終わりを告げるチャイムが鳴る頃には、へとへとになって職員室へ戻ってきました。

仏向小では、毎週火曜日を「ロング昼休み」としています。普段より10分長いこの時間には、多くの子どもたちが運動場に集まり、追いかけ合ったり、一輪車や竹馬に挑戦したり、遊具で遊んだり、思い思いに体を動かしています。そこには、子どもたちだけでなく、一緒に遊ぶ先生たちの姿もあり、運動場全体が笑顔と活気に包まれています。

本校の教育目標は、「やさしさいっぱい 汗いっぱい にこにこ笑顔で夢いっぱい」です。この言葉は、平成12年度に定められて以来、長年にわたり大切に受け継がれてきました。「汗いっぱい」には、元気に体を動かすという意味だけでなく、友だちや先生と関わりながら、挑戦したり、時には思い通りにいかない経験をしたりする中で、粘り強さや思いやりの心を育ててほしいという願いが込められています。



昼休みの運動場で見られる子どもたちの姿は、まさにこの教育目標が、日々の学校生活の中で自然に形となって表れている一場面だと感じます。

1年生は、4月の間は昼休みの時間を使って下校の準備をしていますが、5月下旬頃からは、昼休みも学校で過ごすようになります。友だちとの関わりが深まり、年上の子たちと一緒に遊ぶ中で、新たな刺激や学びも生まれていくことでしょう。

これからも仏向小は、子どもたちが「汗いっぱい」になりながら、安心して挑戦し、成長していける学校であり続けたいと考えています。

【仏向小には四季折々の花がきれいに咲いています。ご来校の際に足を止めてご覧ください。】

